



# 教育委員会会議 令和5年10月定例会 会議録

(13:27)

## 1. 開会

市民憲章唱和

## 2. 教育長あいさつ

## 3. 会議録の署名者の件について

## 4. 前回会議録の承認

全員賛成

## 5. 教育長等の報告

## 6. 議事

### (1) 報告

#### ①津山市「図書館を使った調べる学習コンクール」審査結果及び表彰について（生涯学習課）

概要説明（資料 6-1-1）

津山市「図書館を使った調べる学習コンクール」の審査結果と表彰について報告します。募集期間は令和5年8月28日から9月17日までで、応募件数は142作品でした。令和5年10月10日に審査委員会を開催し入選作品を決定しました。入選作品は、津山市長賞、津山市議会議長賞、津山市教育委員会教育長賞を始め10作品です。上位3作品については、裏面に詳しく記載しています。表彰式は、令和5年11月12日（日）の午後2時から午後3時まで津山市立図書館視聴覚室にて開催します。また、上位3作品は公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールに推薦します。

#### ②令和6年度津山市教育・保育施設利用のご案内について（こども保育課）

概要説明（資料 6-1-2）

先月の教育委員会で、公立幼稚園の定員について承認いただき告示したところですが、令和6年度津山市教育・保育施設利用のご案内を配布しました。この募集要項は10月2日から、こども保育課窓口やホームページにも掲載し、各園にも配布しています。令和6年4月の入園希望の申し込みについては、令和5年11月1日から11月14日までの2週間募集を行います。申込の際には、第1希望から第5希望まで書くことができます。入園の結果については、保護者の就労状況等を点数から、入園順位を決定し、翌年2月上旬に決定通知を送付します。令和6年5月以降の入園については、11月15日以降随時面接をして決定します。

#### ③令和5年9月決算議案の質問答弁について（こども保育課・教育総務課）

概要説明（資料 6-1-3）

令和5年9月27日から令和5年度の決算議会が開催され、令和4年度の執行内容や執行状況についての質問がありました。

白石議員から、給食センター費の調理洗浄業務委託料の中に食材費は含まれているのかという契約内容についての質問がありました。食材費は、保護者からの給食費でいただいているので、会計は別であると答弁しています。丸尾議員からは不用額が多額になった事業趣旨と原因についての質問がありました。令和4年度は、光熱水費など電気代が高騰しており、年間で2回補正予算を組むような形で多めに構えていましたが、想定より値上がりしなかったため差額が生じていると回答しています。また、工事請負費は工事入札残があったこと、青少年育成費が津山市へ帰ってきんちゃい若人応援基金は申請者数が見込みより少なかったため執行残がある状況だと答弁しています。三浦議員からは教育委員会として情報発信や情報受信・広聴をどのように行っているのか、その効果や予算についての質問がありました。情報発信については、教育委員会通信や給食だより、ホームページを活用していることを答弁しております。他にも、PTA会長さんとの懇談会等も実施しています。また、学校の安全管理や不登校・長期欠席が続く子どもたちへの支援策についての質問がありました。補助金等についての内容や執行状況等についての質問がありました。特に新型コロナウイルスの関係では修学旅行の

キャンセル料補助金の執行率や遠方から通う方の遠距離通学費の補助金等について答弁しています。秋久議員からは「補償補填及び賠償金」の執行内容についての質問があり、小中学校で ICT 授業を行う際に著作権を自由に利用可能とするための「授業目的公衆送信補償金」として執行していると答弁しています。

こども保健部へは、三浦議員から安全管理に費やされた事業費、保護者や地域の方々に対する意識啓発の取り組み、安全管理に関する現場の状況をどのように確認しているのかという質問がありました。園における安全管理に関する主な事業費として、施設の修繕や遊具点検、遊具の更新等に支払った金額と感染症対策に必要な消耗品備品と抗原検査キットなどを購入していると答弁しました。また、物価高騰に対する支援事業にも支出していることを説明しています。また、民間園の老朽化に関する施設整備を行うため、昨年度は 4157 万円支出していると答弁しています。各園の安全管理に関する取組については、それぞれの園だよりや手紙によって保護者へお知らせを行っていること、地元町内との関係については見守り活動や情報交換を行っていることと回答しています。安全管理の状況確認については、県の指導監査にあわせて市も同行し、帳簿や職員からの聞き取り、実際に保育の様子を参観し、必要に応じて助言を行っていることを答弁しています。

#### ④令和 4 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について (学校教育課)

概要説明 (資料 6-1-4)

本調査は文部科学省が毎年行っている一般統計法に基づく調査です。この調査は、令和 5 年度に発表されますが、令和 4 年度の実績についての調査結果です。本調査は国が発表している以上のことは、原則禁じられていますが、それぞれの自治体の状況等を公表し地域の施策に生かすということであれば、公表が可能であるので本市においても、毎年発表を行っています。全体的な特徴は、令和 3 年度は不登校が 24 万人でしたが令和 4 年度は 29 万人と、2 割以上の増加という全国的にも大きな課題となっています。要因としては、新型コロナウイルスによる不安や学校へ登校することに対する考え方が変わってきているというのではないかと考えています。また、データの特徴について、いじめのデータで令和 4 年度の解消率を見ると括弧書きしているところがあります。岡山県は、昨年度まで小中学校別に公表がありましたが、今年度から小中学校合わせての数値を公表するようになったため、小中学校ともに解消率の数値が等しくなっています。

最初に、暴力行為について詳しい結果について報告します。暴力行為とは、故意に目に見える物理的な力、有形力を加える行為を指します。全国的には増加傾向にあります。岡山県並びに津山市では昨年度と比較してほぼ同程度か減少傾向にあります。本市では発生件数も 1000 人当たりの発生件数も県を 3 年連続で下回り、市全体的には落ち着いた状況にあります。個別には指導が難しいケースもあります。教育委員会としては、今後に向けて故意の暴力行為に繋がる案件が発生した場合には、学校警察連絡室など関係機関と情報を共有し、早期対応による重大事態の未然防止に取り組むことや、暴力行為の原因と背景を読み解き、再発防止に学校として、組織的に取り組めるよう助言を行います。各校の取組としては、今後も引き続き児童生徒に寄り添った生徒指導を実践していくことや生徒の暴力行為の背景、事情を読み解く指導をお願いしています。また、校内で共有している指導のマニュアルなどを見直しながら、全職員が児童生徒の状況を理解し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを含めた学校組織としての一貫した指導をお願いしています。日頃より、授業や学校行事、地域での体験活動等を通じて、児童生徒が達成感や自己肯定感を実感し、お互いを認め合い自己肯定感を高める支援を引き続き行っていきます。次に、いじめについてです。いじめの認知件数は、全国・県共に増加傾向にあります。本市の中学校においては、1000 人当たりの認知件数が全国を上回っています。原因としては、生徒間の人間関係の希薄さや固定化によりいじめが増加している事が考えられますが、一方で、定期的なアンケートや教育相談等を通じて、教職員による積極的な認知が進んでいるとも考えられます。いじめの形態については、小学校・中学校共に「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が多く、中学校で増加している形態は SNS (パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる) によるトラブルです。教育委員会としては、生徒指導担当者会などで関係機関と共に「津山市いじめ問題対策基本方針」に沿った組織的な対応になっているか確認し、いじめの未然防止、早期発見、対処の更なる充実に努めています。また、毎月各学校から提出される「いじめ状況調査」を教育相談アドバイザーと情報共有や状況把握を行い、個々の事案について丁寧な聞き取りをするなど組織的に対応しています。各学校では、「いじめ見逃しゼロ」を目指し、児童生徒の様子の変化や把握した個別の情報等を、生徒指導委員会などと定期的な情報共有の機会を持ち、いじめを積極的に認知し、解消に向けた取組を組織的に進めています。いじめ防止啓発月間などを活用し、児童生徒の主体的な活動によるいじめを許さない学校風土への取組を推進し

ていきます。最後に、長期欠席・不登校についてです。新型コロナウイルス感染症が流行した3年間は、全国的にも長期欠席・不登校者数が増加傾向にあり、本市でも小中学校共に増加している結果となっています。不登校出現率では全国・県を下回っており、支援の届かない児童生徒を出さないようにするため、児童生徒の家庭環境や状況の把握を丁寧な関わりの中で行っていることが要因と思われます。今後も、新たな不登校を出さないための対策を継続していきます。教育委員会としては、津山市内4中学校に支援員を配置し、児童生徒をいつも待っていてくれる先生がいる安心安全な居場所として、津山市新たな居場所別室支援教室事業を昨年度からスタートしています。本年度は、津山市新たな居場所（別室）連絡協議会を定期的に開催し、取組の充実を図っています。さらに、不登校児童生徒の保護者への情報提供や情報交換できる場として「（仮称）学校に行きづらい児童生徒の保護者の会」を設立します。各学校では、定期的なアンケート調査等を実施し、年間を通じて児童生徒一人ひとりの丁寧な状況把握をしています。また、毎月報告してもらった支援対象者リストを活用し、状況と支援の在り方について全職員で手立てを共有するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家や鶴山塾等の関係機関・団体と連携して学びの場の確保に向けた支援を行います。学校でも、欠席3日までの対応を丁寧実施し、チームで迅速な対応が行えるように情報共有を定期的に行い、職員間で共通理解を図っています。

## 7. その他

### (1) 各課からのお知らせ

#### ① 給食だよりについて（保健給食課）

給食だよりを発行しました。今月の給食だよりでは、給食のイチオシメニューとして秋なすのオイスターソース煮について掲載しています。右側には、友好交流都市であるサンタフェ市の料理を給食提供することについてと、リクエスト給食の提供日を掲載しています。また、保護者の方に向けて、学校給食の運営に必要な費用についてお知らせしています。

#### ② 令和5年度食生活アンケートについて（保健給食課）

毎年度6月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象とした食生活アンケートを実施しています。アンケートの結果は冊子にまとめるとともに、また、と給食だよりの特別号として発行しています。小中学校ともに朝ご飯を毎日食べている児童生徒の割合は昨年度より増加しています。朝食を食べない日がある人の割合も小中学校ともに昨年度より減少していました。右側には、朝食を食べない理由、朝食摂取頻度と休日就寝時間、朝食摂取頻度と休日起床時間についての結果を掲載しています。裏面は、アンケート結果をふまえた啓発記事となっています。各学校には、冊子と給食だより特別号に加えて、各学校の結果を配布し活用をお願いしています。

#### ③ 津山市教育委員会通信 11月号について（次世代育成課）

表面は、津山市青少年育成センターについて、裏面は鶴山塾の内容になります。ひきこもり理解のための講演会を開催したことと、ひきこもり当事者の家族のつどいについて掲載しています。今年度はひきこもり当事者の家族のつどいを残り2回実施します。裏面は鶴山塾の秋ということで、ボランティアの方に支援をいただき行った農園作業について掲載しています。下段には、鶴山塾ボランティア「とまり木」のふれあいネットグループによる活動について掲載しています。

### (2) 次回定例会の開催について

教育委員会規則に毎月第4木曜日が定例会開催日となっているが、次回定例会は令和5年11月21日(火)9:00から開催。  
全員賛成により決定

### (3) その他

## 9. 閉会

(14:33)